



# asian youth orchestra

100名のアジアユースオーケストラ(AYO)のメンバーは、中国、香港、台湾、日本、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの11カ国・地域での厳しいオーディションをくぐり抜け、天津Juilliardでの3週間のリハーサル・キャンプに続き、国際的に活躍する著名な指揮者やソリストとの3週間のツアーを行い、毎夏約6週間の活動をしています。

1990年以来、受賞歴のあるAYOは、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアで440の公演を行い100万人もの観客を魅了してきました。これまで17歳から29歳までの2万人もの音楽家がオーディションを受けてきました。

創立から35年でチェロ奏者のヨーヨー・マ、ミッシャ・マイスキー、ワン・ジャン、アリサ・ワイラーシュタイン、ヴァイオリン奏者のギドン・クレーメル、ギル・シャハム、エルマー・オリヴェイラ、ヤン・ウク・キム、諏訪内晶子、チョーリヤン・リン、服部百音、ソプラノのエリー・アーリング、ピアニストのアリシア・デ・ラローチャ、セシル・リカド、レオン・フレイシャー、ジャン・ルイ・トイアマン、ボザール・トリオらと共に演しました。

また指揮者には、首席指揮者のジェームズ・ジャッド、名誉指揮者のセルジュ・コミッショーナ、アレクサンダー・シュナイダー、タン・ドゥン、オッコ・カム、マッティアス・バマート、ジョセフ・バステイアンそして偉大なる音楽家である故ユーディ・メニューインと創設者リチャード・パンチャスを迎えてきました。ボルティモア響、ボストン響、パップファローフィル、アトランタ響、サンフランシスコ響、モネ響、トリブル・ヘリックス・ピアノ・トリオ、ボストン音楽院、ピーボディ音楽院、天津Juilliard音楽院などからの音楽家による指導を受けています。

2010年高松宮殿下記念世界文化賞若手芸術家奨励賞、2015年第20回日経アジア賞 文化・社会部門を受賞したAYOは、中国本土においては海外からのどのオーケストラよりも多くの都市・地域でコンサートを行い、ベトナムでは過去50年において初の海外からのオーケストラ公演となりました。1997年に香港と北京でおこなわれた香港返還式では、タン・ドゥンの『交響曲1997』の世界初演でヨーヨー・マと共に演しました。

ホワイトハウスや国連本部、ニューヨークのエイブリーフィッシュホール（デビッド・ゲ芬・ホール）、ハリウッド・ボウル、アムステルダムのコンセルトヘボウ、ベルリンのコンツェルトハウス、ウィーンのコンツェルトハウス、シドニーのオペラハウス、そして日本や東南アジアの国々で演奏してきました。

音楽を志すアジアの青少年が、アジアにおいて自分達で音楽を作り上げることに誇りを感じ、有名アーティスト達との共演やツアーを経験することを通じて、優秀な才能が育まれ成長していくことを、AYOの真の目的としています。



## ジョセフ・バステイアン Joseph Bastian (首席指揮者)

2023年ツアーから始め、アジアユースオーケストラは、若い世代の最もエキサイティングな才能の人であるスイス系フランス人指揮者のジョセフ・バステイアンを首席指揮者に迎えています。ベルギー、ルクセンブルグ、ドイツと国境を接する、フランスのロレーヌ地方の出身であり、スイス系フランス人の家族に生まれ、チェロ、トロンボーン、及び作曲を学び、ザール音楽大学ではトロンボーンを専修した後、グスタフ・マーラー・ユーゲント管弦楽団やミュンヘン交響楽団のアカデミーオーケストラのメンバーを経て、バイエルン放送交響楽団のバス・トロンボーン奏者を務めました。

最近の公演ではバイエルン国立歌劇場、フレーメン・ドイツ響、ベルリンDSO、ヘッセン放送協会交響楽団、ルクセンブルク・フィル、イル・ド・フランス国立管弦楽団、バレセロナ・イ・カタルーニャ国立管弦楽団、ブラハ放送交響楽団、SWR交響楽団の指揮をしており、2022年にはチューリッヒ歌劇場でのデビューを果たし、ハイドンの『月の世界』の5公演を指揮しています。



## ジョージ・リー George Li (ピアノ)

ワシントン・ポスト紙に「驚異的なテクニック、深い洞察力と表現力」を兼ね備えていると絶賛されたピアニスト、ジョージ・リーは、その年齢をはるかに超えた、樂々とした優雅さ、落ち着いた威厳、素晴らしい演奏技術を持っています。2015年チャイコフスキーオンコールで銀賞を受賞して以来、急速に国際的な名声を確立し、ドゥダメル、ガフィガン、ゲルギエフ、ヒメノ、ホーネック、オロスコ=エストラーダ、ペトレンコ、ロバートソン、ピンシャー、スラットキン、テミルカーノフ、ティルソン・トマス、ロン・ユー、シアン・チャンといった世界有数のオーケストラや指揮者と定期的に共演。

2024-25年シーズンには、SPACでのフィラデルフィア管弦楽団、ミネソタ管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団とのデビュー、カーネギーホールでのセントルース管弦楽団との開幕室内樂リサイタル、中国のフフホト・フィルハーモニックと西安交響楽団、チャーチルストン交響楽団とデモイン交響楽団との共演など、3大陸で活躍。また、ロサンゼルス・フィル、タコマ交響楽団、シンシナティ交響楽団、インディアナポリス交響楽団、バシフィック交響楽団、スウェーデンのノルデイック室内管弦楽団などで、モーツアルトのピアノ協奏曲第23番とベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番を演奏。リサイタルはモントリオール、シンガポール、上海、広州で開催。

リーは10歳でボストンのスタンウェイ・ホールで初公演を行い、2019年ハーバード大学／ニューアーク音楽院のデュアル・ディグリー・プログラムを修了し、英文学の学士号とワ・キョン・ピヨンに師事する音楽の修士号を取得。ピアノの演奏以外では、読書と写真撮影を趣味とし、熱狂的なスポーツファンでもあります。

## AYO 2025 ツアースケジュール

8/3  
8/5  
8/6  
8/8  
8/10

天津  
北京  
西安  
上海  
武漢

8/13  
8/15  
8/17  
8/19  
8/21

長沙  
中山  
佛山  
台北  
嘉義

8/23  
8/25、26  
8/28、29、30

茨城  
東京  
香港